

## 連合大阪 大阪府知事・大阪市長「ダブル選挙」勝利 特別決議

今後の大阪府政、大阪市政にとって重大な岐路となる大阪府知事・大阪市長「ダブル選挙」が、11月22日に実施される。この「ダブル選挙」は、大阪の将来と大阪府民、大阪市民の暮らしに重大な影響を与えるものであり、この戦いに勝利することによって、これまでの対立と排除の議会・行政運営に終止符を打ち、対話重視の大阪府政・市政を再生し、府民・市民の暮らしをよくするための「真の改革」へと結実させなければならない。

現在、大阪府知事選挙では、大阪府議会議員の栗原貴子氏が「維新政治を終わらせるため」として無所属で立候補する意思を表明した。一方、大阪市長選挙では、反維新として住民投票で先頭に立った柳本顕氏が、無所属での立候補を表明し、「対立から協調」の市政実現のため、住民投票をともに戦った諸団体に幅広く支援を要請する意向を示した。

対する大阪維新の会は、10月1日に国政新党「おおさか維新の会」の結党表明を行うとともに、知事選、市長選への候補者の擁立を決めた。そして、その基本政策には、5月の住民投票で否決されたばかりの「大阪都構想」、すなわち大阪市の廃止、分割が再度掲げられている。これは住民投票で示された市民の意思を愚弄する行為であるとともに、大阪府政、大阪市政にさらに深刻な停滞をもたらすものとして、厳しく批判されなければならない。

私たち連合大阪は、この戦いを大阪の民主政治復活への足掛かりとすべく、将来の大阪を託せる新たなリーダーの誕生に向け、府知事選においては「府市強力タッグで まじめに大阪」を掲げる栗原貴子さんの、大阪市長選においては「つながる大阪」を掲げる柳本顕さんの推薦をそれぞれ決定し、その勝利に向かって組織一体となって取り組んでいくことを確認した。加えて、反維新の結集体として引き続き取り組みを展開する「府民のちから 2015」と連携し、「維新政治」の危うさを広く世論に訴え、反維新勢力を代表して選挙戦に臨む、柳本氏、栗原氏の必勝に向け全力で取り組んでいく。

改めて問う。

この戦いが持つ意味は、そして、私たちが戦う意義は！！

それは、将来の大阪、私たちの暮らし、そして私たちの職場を守るためである。

今こそ、組織の力を結集しよう。そして、反維新の仲間と幅広く団結しよう！！

私たちは、「働くことを軸とする安心社会」を大阪において実現させることを目指し、連合大阪全組合員が具体的な行動を積み重ねることにより、この厳しく、且つ、重大な戦いに勝利することを誓い合うものである。

以上、決議する。

2015年10月23日  
連合大阪 第17回定期大会